様式2

都市再生整備計画　事後評価シート

伊勢崎市　中心市街地地区

（案）

令和８年11月

群馬県伊勢崎市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県	市町村名	伊勢崎市	地区名	伊勢崎市中心市街地地区		面積	31.8
交付期間	令和2年度～令和6年度	事後評価実施時期	令和2年度～令和6年度	交付対象事業費	3,105.8	国費率	0.5	

1）事業の実施状況

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園：南口駅前広場、桜公園、日吉公園		
	提案事業	事業活用調査：事後評価調査		
当初計画から削除した事業	基幹事業	公園：日吉公園	整備時期の見通しが立たないため。	影響なし
	提案事業	事業活用調査：事後評価調査	市単独費対応としたため。	影響なし
新たに追加した事業	基幹事業	高次都市施設：子育て世代活動支援センター 誘導施設：保健センター （特定保健誘導施設、子育て世代包括支援センター）	市内にある4箇所の保健センターを統合したうえで、子育て機能を拡充し、本市における子育てと健康づくりの基幹的施設を整備するため。また中心市街地の活性化に貢献するため。	aa
	提案事業			

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	
	当　初	令和2年度～令和6年度		―
	変　更	―		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	地区内人口密度	人/ha	約32	R1	約32	R6	―	約28.2	△	あり	●	目標値に達しなかったがR5の約27.7人から、R6は約28.2人へ増加した。	R9
										なし			
指標2	水と緑の景観形成の満足度	点	2.90	R1	2.90	R6	―	―	―	あり	―	同様のアンケート調査の設問が廃止されたため判定不能。	―
										なし	―		
指標3	保健センター及び子育て包括支援センター利用者数	人/年	30,040	R1	45,500	R7	―	70,112	○	あり		多機能で駅近くの利便性等が評価され目標値を大きく上回る結果となった。	R9
										なし	●		
指標4	子ども子育て支援の充実の満足度	点	2.69	R1	2.70	R7	―	―	―	あり	―	同様のアンケート調査の設問が廃止されたため判定不能。	―
										なし	―		

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	子育てに希望が持てる社会の実現	点	26.3	R7			―	36.9			旧施設を統合した多機能な保健センターが新設され、包括的支援体制が目に見えて整ったことへの評価。	R9
その他の数値指標2	桜公園整備に対する評価（都市景観向上への満足度）	%	―	―			―	35.5			街なかのオープンスペースが確保され、都市景観が大きく改善されたことへの評価。	R9
その他の数値指標3	保健センター利用に対する満足度	%	―	―			―	95.0			多機能型センターが整備されたことへの直接的な評価と、駅近くに立地し付加的利用も可能という利便性への評価。	R9

4）定性的な効果発現状況

・南口駅前広場を会場とした「伊勢崎楽市」「フリーマーケット」「七夕飾り」などのイベントが活発化している。
・桜公園では、近隣の「こども園」の園児たちが、保育の一環として頻繁に訪れて「公園内ゴミ拾い」や「公園をテーマとしたお絵描き学習」などを行い、幼児期からの社会との触れ合いを学習している。
・保健センターの１階ソーイングルームのオープンスペースには、学校帰りの中高生も訪れ、友達との交流や読書、勉強をする姿があり、駅近の清潔で安全なコミュニティー核として活用されている。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	―	都市再生整備計画に記載し、実施できた	―	―
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	―	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	―	
官民連携による取組	―	都市再生整備計画に記載し、実施できた	―	―
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	―	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	―	
持続的なまちづくり体制の構築	・南口駅前広場では、地区内の「いせさき一番街協同組合」と市内のまちづくり活動団体である「まきばプロジェクト」が季節感あるイベントを開催していて、持続的な街の賑わい創出に努力している。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		・保健センター利用者向けに育児に関するイベントを開催する。 ・市民参加型イベントでは、賑わい系の他に、防災減災に関する啓蒙的な要素を盛り込む等、内容の多様化に努める。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

中心市街地地区（群馬県伊勢崎市）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
・中心市街地の良好な住環境を守る。 ・子育て支援体制の充実に資する環境の整備を図る。 ・市民の健康づくりの拠点となる環境の整備を図る。	地区内人口密度	単位：人/ha	約32	R1	約32	R6	約28.2	R6
	水と緑の空間形成の満足度	単位：点	2.90	R1	2.90	R6	―	R6
	保健センター及び子育て包括支援センター利用者数	単位：人/ha	30,040	R1	45,500	R7	70,112	R7
	子ども子育て支援の充実の満足度	単位：点	2.69	R1	2.70	R7	―	R7
	子育てに希望が持てる社会の実現	単位：%	26.3	R7	―	―	36.9	R8
	桜公園整備に対する評価（都市景観向上への満足度）	単位：%	―	―	―	―	35.5	R8
	保健センター利用に対する満足度	単位：%	―	―	―	―	95.0	R8



















まちの課題の変化	・駅前広場では、民間団体主体のイベントが開催され、街の賑わいを創出している。 ・オープンスペースの面的規模は確保されたが、緑化要素については質的に不足したままである。 ・桜公園は、夕刻以降に若者（高校生等）達のたまり場所となっていることがあり、防犯上かつ健全な青少年の育成上、大きな懸念材料となっている。 ・保健センターは、市内子育て世代に寄り添う施設として十分な評価を得ており、計画当初の課題解決に大きく貢献している。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・価値観の多様化に対応した、民間団体のイベント数増加を働きかけるとともに、官民協働イベント回数も増やす。 ・土地区画整理事業の進展に努め、早期の生活再建と一時的に地区外転出されている方々の回帰を促進することにより、住民主体のイベント開催を実現し、内からの賑わい創出を図る。 ・現在の保健センター機能に対しての利用状況の検証を進めつつ、新たに求められるニーズへの積極的な対応を図る。 ・桜公園利用に関する市民のニーズを把握する。 ・夕刻以降、若者達のたまり場となりそうなところの見回りと、積極的な声かけを行い、防犯と青少年育成上の課題に対応する。